

2020年3月期第2四半期 決算説明会

2019年11月13日（水）

株式会社アイティフォー（証券コード：4743）

代表取締役社長 佐藤 恒徳

2020年3月期第2四半期業績

第2次中期経営計画重点施策の
上期進捗状況

2020年3月期業績見通し

ご参考資料

期初の予想を上回り売上・利益ともに過去最高を達成

➤ 粗利率が低下したものの、販管費率の低下により営業利益率は1.8ポイント上昇

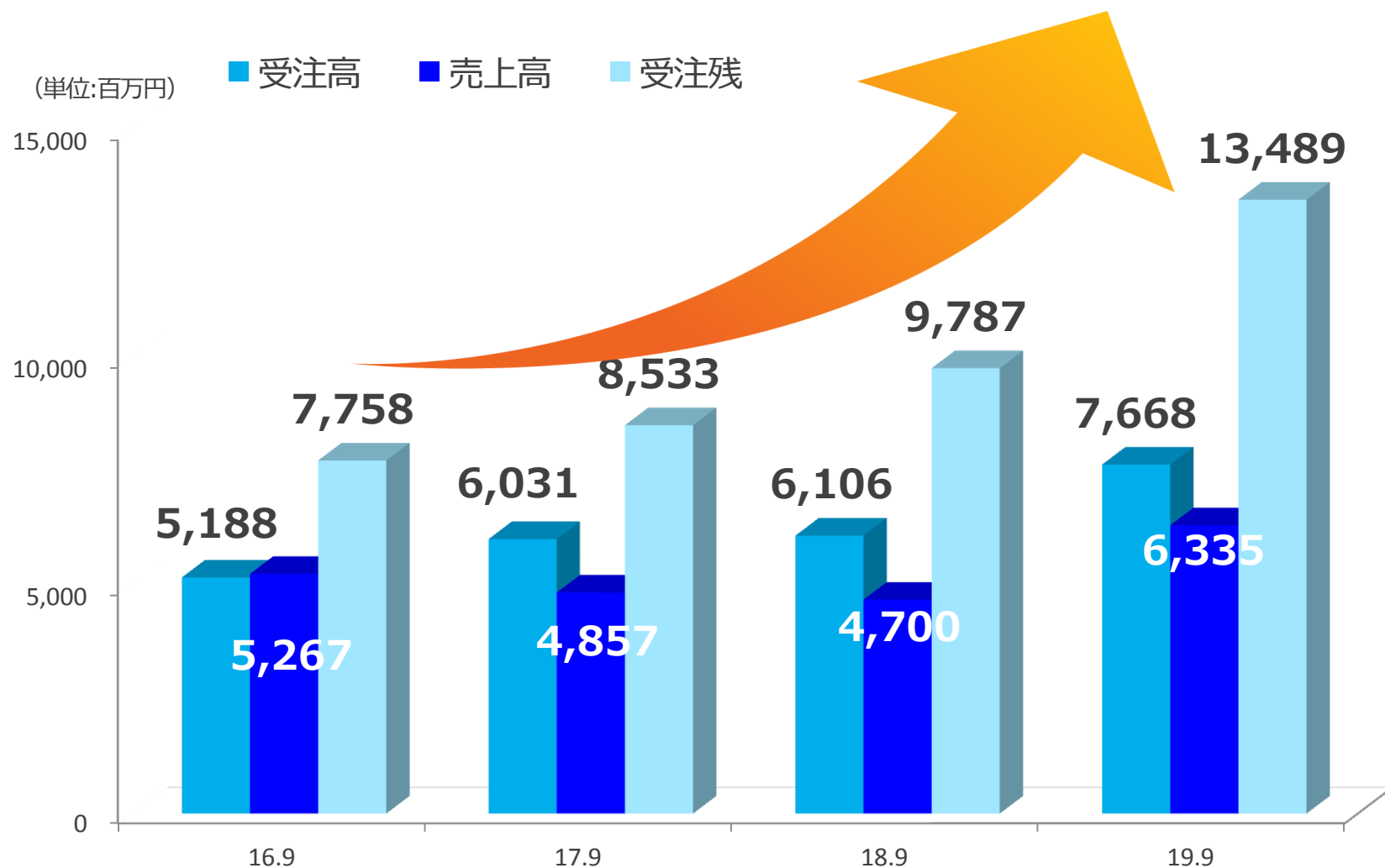
(単位:百万円、%)

	18/9月 実績 (累計)			19/9月実績 (累計)			
	金額	売上比	前年同期比	金額	売上比	前年同期比	期初予想
売上高	4,700	-	△ 3.2	6,335	-	+ 34.8	5,300
売上総利益	1,823	38.8	△ 1.5	2,129	33.6	+ 16.8	-
販管費	1,414	30.1	△ 3.9	1,462	23.1	+ 3.4	-
営業利益	409	8.7	+ 8.1	667	10.5	+ 63.0	530
経常利益	450	9.6	+ 6.5	720	11.4	+ 59.9	550
当期純利益	302	6.4	+ 23.8	495	7.8	+ 64.2	370
受注高	6,106	-	+ 1.2	7,668	-	+ 25.6	-
受注残	9,787	-	+ 14.7	13,489	-	+ 37.8	-

受注・売上・受注残の推移



受注、売上高、受注残、それぞれ過去最高を更新



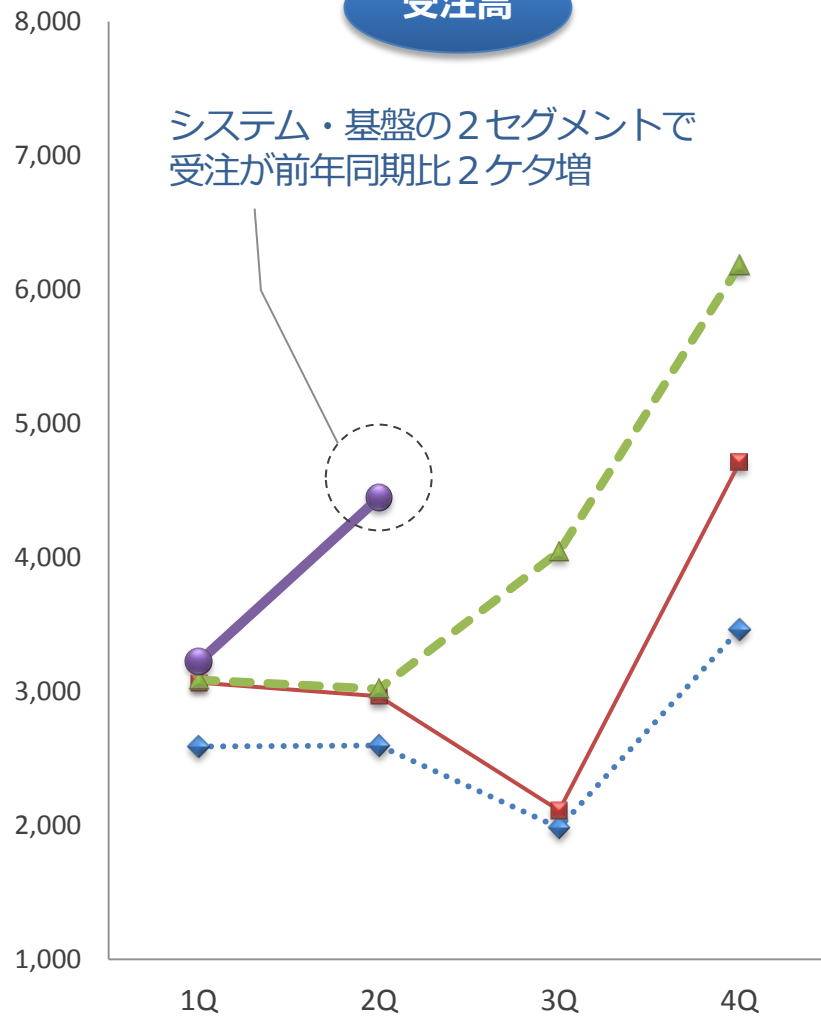
四半期毎の受注高・受注残推移



(単位:百万円)

受注高

システム・基盤の2セグメントで
受注が前年同期比2ケタ増

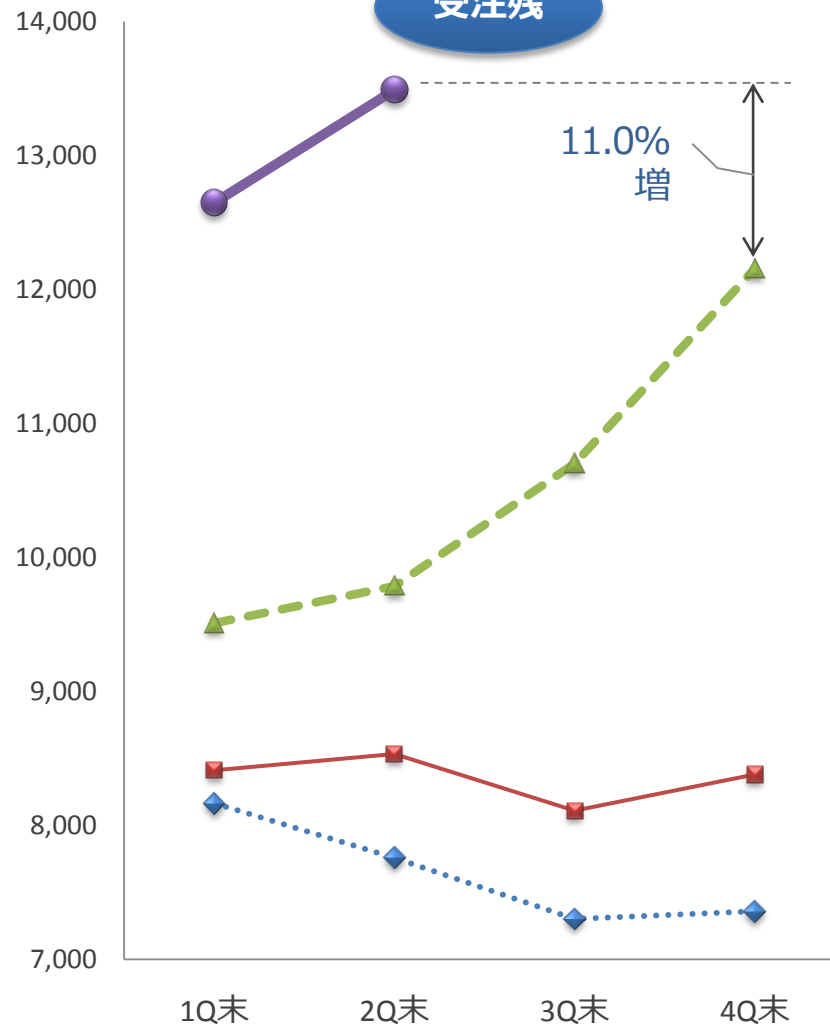


17.3 18.3 19.3 20.3

(単位:百万円)

受注残

11.0%
増



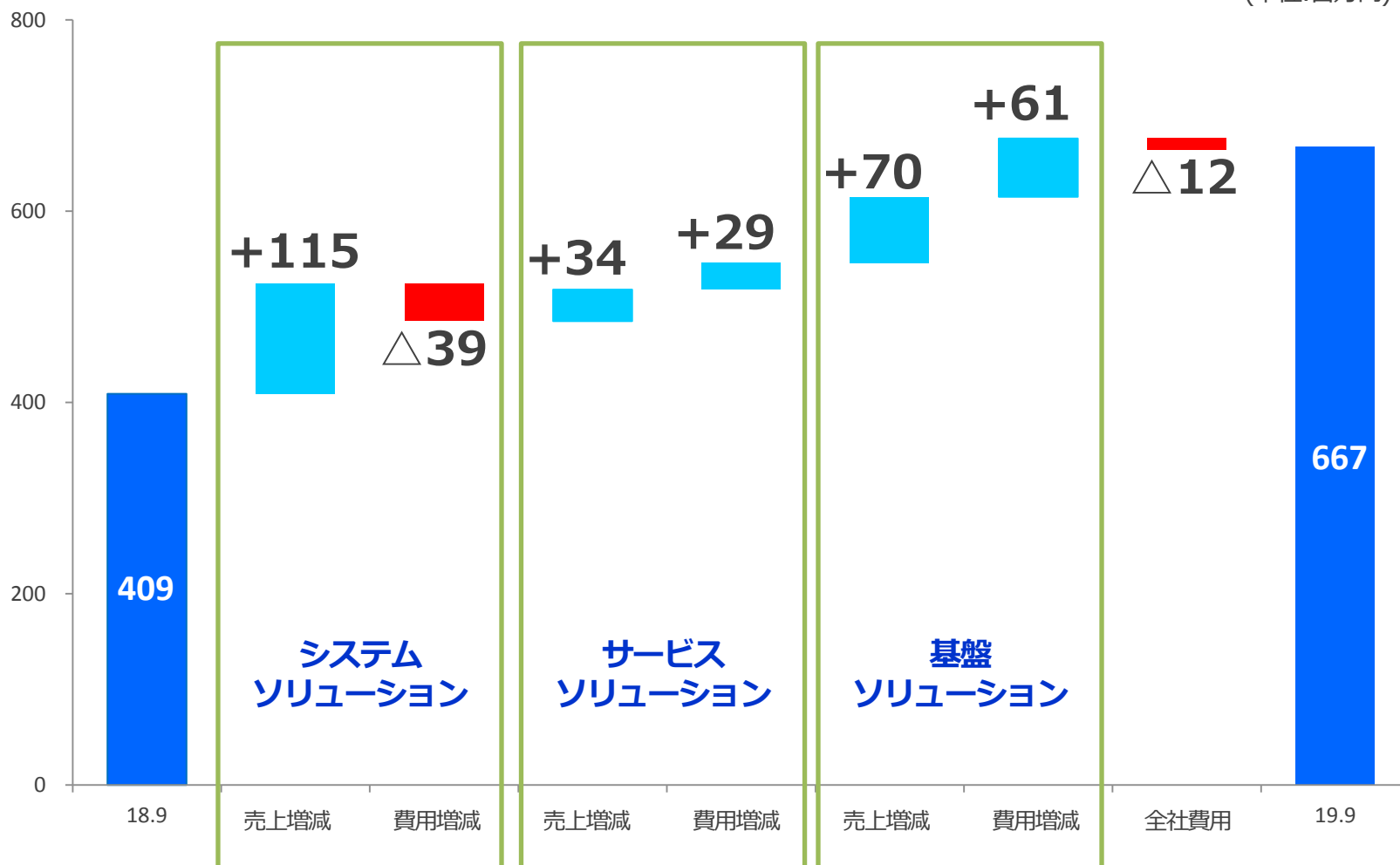
17.3 18.3 19.3 20.3

営業利益の増減分析



基盤ソリューションでの増益が最高益を牽引

(単位:百万円)

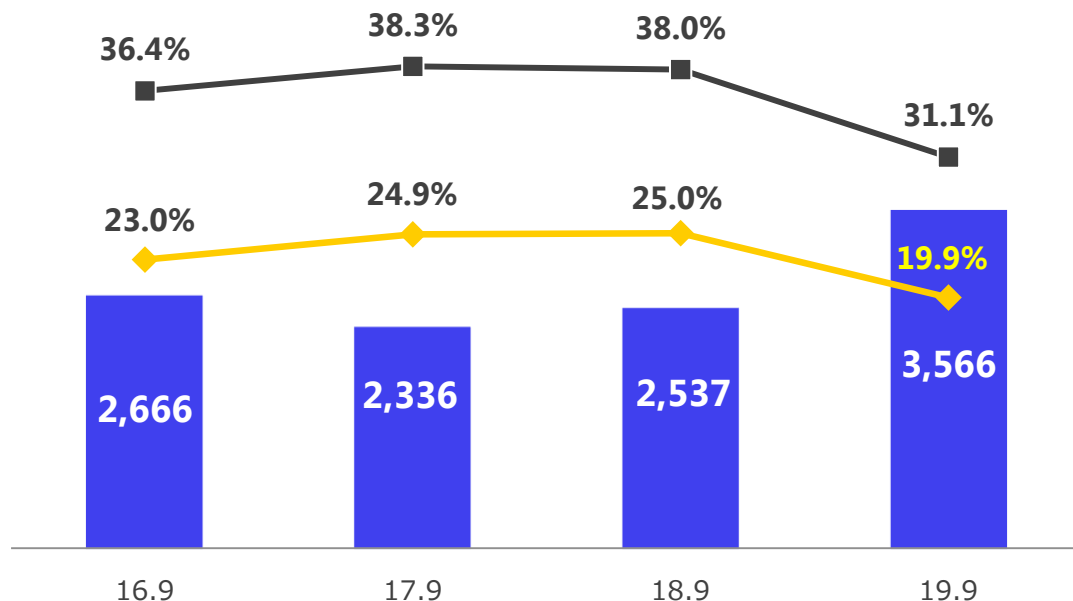


セグメント情報(1)システムソリューション

■ 売上高 (単位:百万円)

■ 粗利率

◆ 営業利益率



単位:百万円	16.9	17.9	18.9	19.9	前年同期比
受注高	2,883	3,662	3,543	4,381	+ 23.7%
受注残	4,212	5,346	6,609	8,586	+ 29.9%
営業利益	613	582	634	710	+ 11.9%

■ 売上高 (前年同期比 40.6%増)

- ・ 前期受注したフィナンシャル/公共向けの新規大型案件が寄与
- ・ 改元対応による特需
- ・ 消費税率の改正・軽減税率対応の受注において複数の案件で納入を前倒し
- ・ Java資格者を多く抱えるソフトウェア開発会社のイーブ社が今期より連結対象

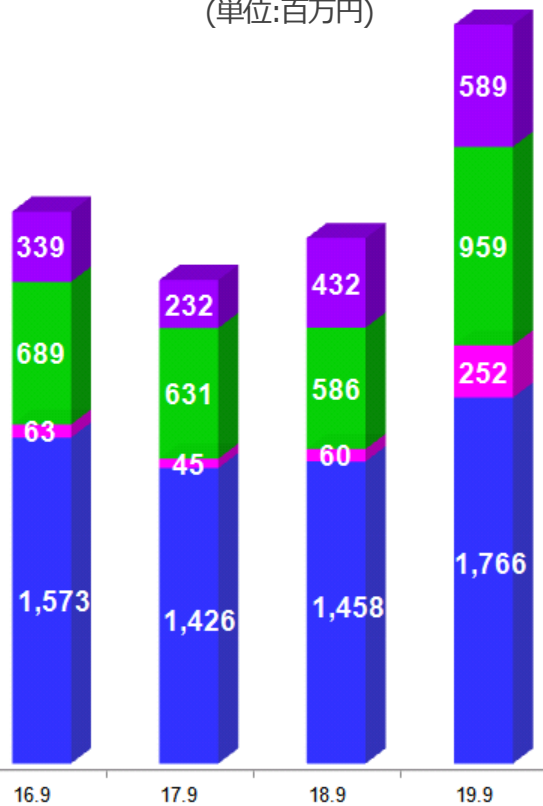
■ 営業利益 (前年同期比 11.9%増)

- ・ 増収要因である新規大型案件において開発初期段階では原価率が高くなる傾向にあり、利益の伸びを抑制
- ・ 法対応関連の案件における原価率の上昇
- ・ 今期より本格スタートした、アンチマネーロンダリングシステム「NICE Actimize」における戦略的な販売により利益率が低下

システムソリューション：分野別の売上高

前期第3Q以降の受注増の効果により、全サービス部門別で前年同期に比べ大幅増収

分野別売上高
(単位:百万円)



CTI
システム

前年同期比
36.5%増

CTIシステムでは
「ロボティックコール」が売上を牽引

流通・
eコマース
システム

前年同期比
63.7%増

流通・eコマースシステムでは、ECサイト構築
パッケージ「ITFOReC」やECシステム構築の
大型案件の売上、および消費税率の改正・
軽減税率対応の開発・リリースにより増収

公共
システム

前年同期比
約4.2倍

公共システムでは、滞納管理システムや学務支援
システムの受注増が売上に寄与
さらにイーブ社のグループインにより大幅増

フィナン
シャル
システム

前年同期比
21.1%増

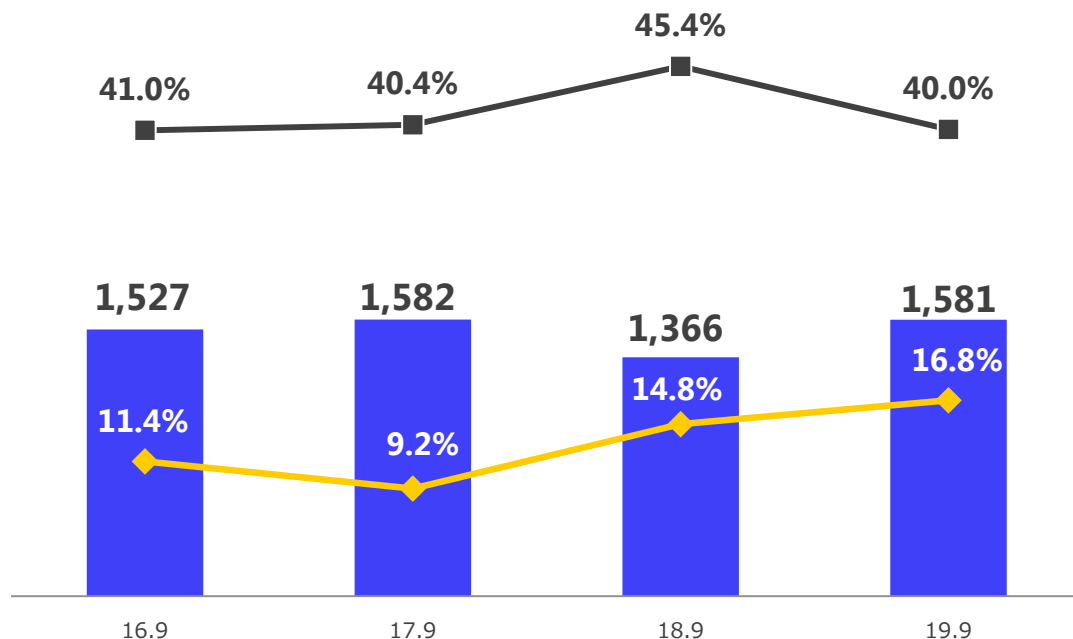
フィナンシャルシステムでは、個人ローン業務
支援システム「SCOPE」、債権管理システム
「CMS V5」が順調

セグメント情報(2)サービスソリューション

■ 売上高 (単位:百万円)

■ 粗利率

◆ 営業利益率



■ 売上高 (前年同期比 15.7%増)

- ・ 高水準の受注残が寄与したことより前年同期比2ケタ増収

■ 営業利益 (前年同期比 31.7%増)

- ・ 前年同期はBPOの大型案件終了で一時的に粗利率が上昇したものの、今期は新規BPO案件の売上好調により本来の水準へ
- ・ 一方、BPOの継続案件において配置人員の最適化等により営業利益率が改善

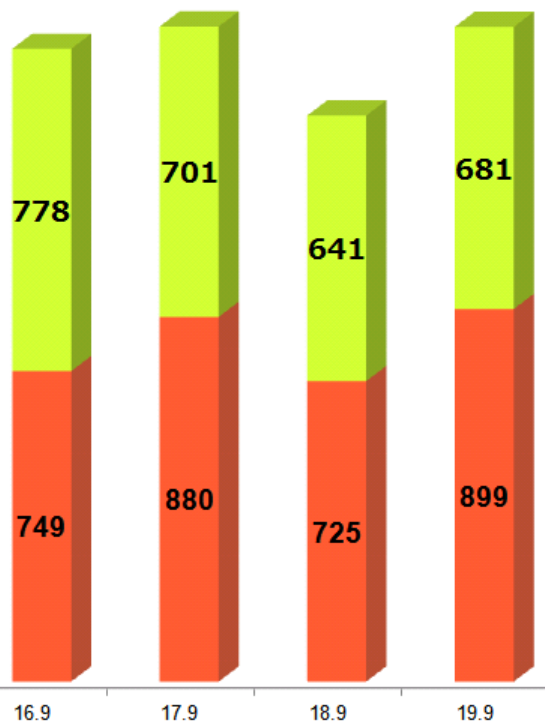
単位:百万円	16.9	17.9	18.9	19.9	前年同期比
受注高	1,422	1,259	1,431	1,539	+ 7.6%
受注残	2,811	2,275	2,021	3,183	+ 57.4%
営業利益	174	146	201	265	+ 31.7%

サービスソリューション：分野別の売上高

前期3Q以降の受注拡大効果により公共BPOが2ケタ増収

分野別売上高

(単位:百万円)



テクニカル
サポート

前年同期比
6.2%増

ハードウェア価格の低下により保守費用が減少傾向にあるものの、高水準の受注残、さらに複数の大型案件が売上に寄与し増収

公共
BPO

前年同期比
24.1%増

前年同期は政令指定都市での大型案件が終了した影響で売上が減少したものの、今期は前期の好調な受注残が売上に寄与し17.9期を上回る売上増

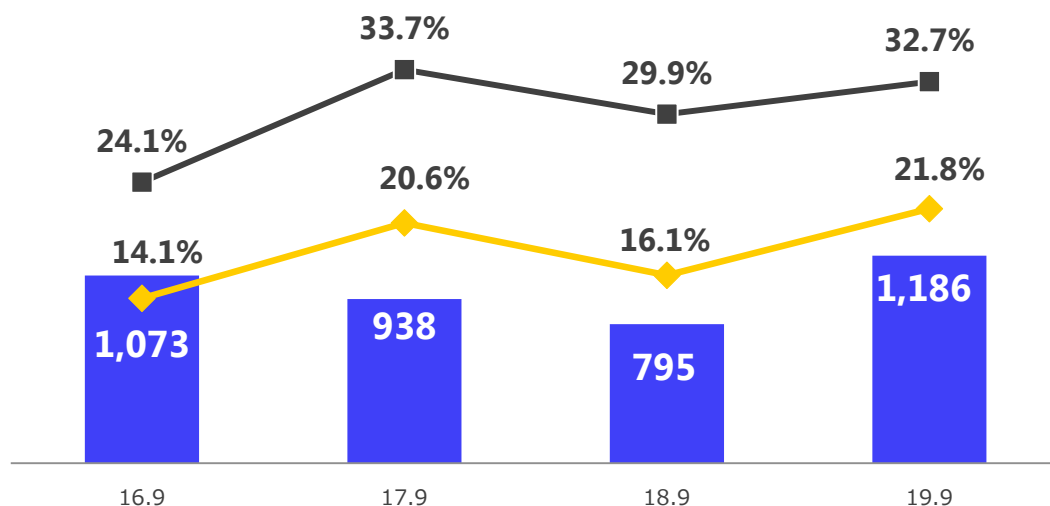
セグメント情報(3)基盤ソリューション



■ 売上高 (単位:百万円)

■ 粗利率

◆ 営業利益率



■ 売上高 (前年同期比 49.1%増)

- ・ 消費税率の改正・軽減税率対応で複数の案件で商品の納入が前倒しに
- ・ キャッシュレス決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の納入による増収

■ 営業利益 (前年同期比 約2倍)

- ・ 増収による増益

単位:百万円	16.9	17.9	18.9	19.9	前年同期比
受注高	882	1,109	1,132	1,748	+ 54.4%
受注残	733	911	1,155	1,719	+ 48.8%
営業利益	151	193	128	258	約2倍



2020年3月期第2四半期業績

**第2次中期経営計画重点施策の
上期進捗状況**

2020年3月期業績見通し

ご参考資料

中期経営計画重点施策の上期進捗状況

第2次中期経営計画基本方針

1. 強い事業領域での競争力維持
2. 戦略商品の販売拡大
3. 新しい市場の開拓
4. 新技術の獲得・展開

▲ 2018年5月18日発表

主力のフィナンシャル・
公共分野の事業が好調を維持

キャッシュレス決済事業が順調
に拡大中

iRITSpay



- 決済クラウドと決済端末を展開
- 幅広い決済手段への対応が1台で可能となる

ロボティックコール
(自動受架電システム)の受注が
好調

売上高
140億

営業
利益
23億

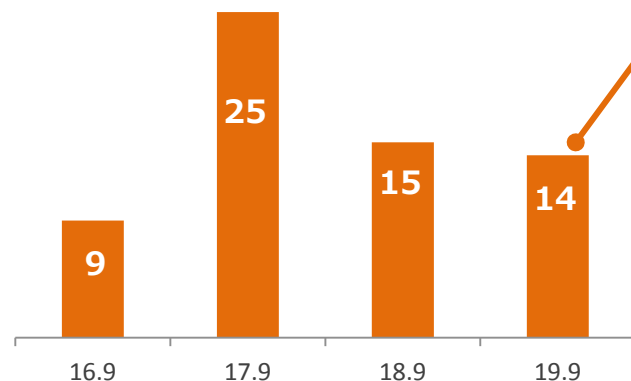
ROE
10%
以上

中期経営計画 2021年3月期目標



主力製品（SCOPE及びTCS）の拡販に加え、 Web受付システムの提案強化により好調に推移

新規受注ユーザー数



上期に14社の新規ユーザーから受注を獲得！

地方銀行×4行

労働金庫×1社

債権回収会社×1社

事業会社系銀行×2社

消費者金融会社×1社

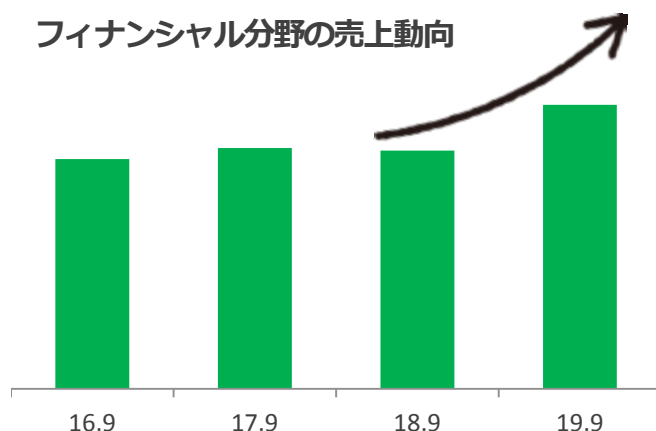
信用保証会社×2社

大手金融グループ×1社

ローンサービス会社×1社

クレジットカード会社×1社

フィナンシャル分野の売上動向



46都道府県・116社導入
(2019年9月末時点)

今期売上好調により、
事業全体の成長を牽引



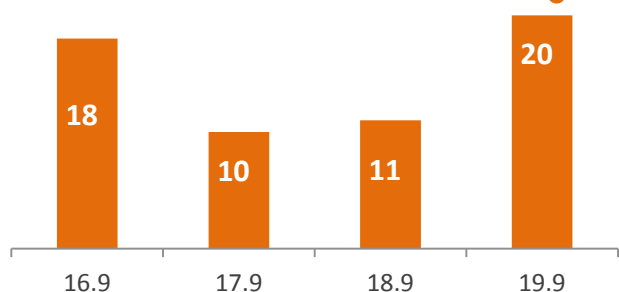
※SCOPE=個人ローン業務支援システム

※TCS=延滞債権管理システム



既存受注先からの横展開戦略に加え、 BPOにおけるシステム利用型提案により好調

新規受注団体数



上期に20団体から新規受注を獲得！

■滞納管理システム

2団体から受注を獲得

そのうち、沖縄県庁にて県での初受注を獲得

■学務支援システム

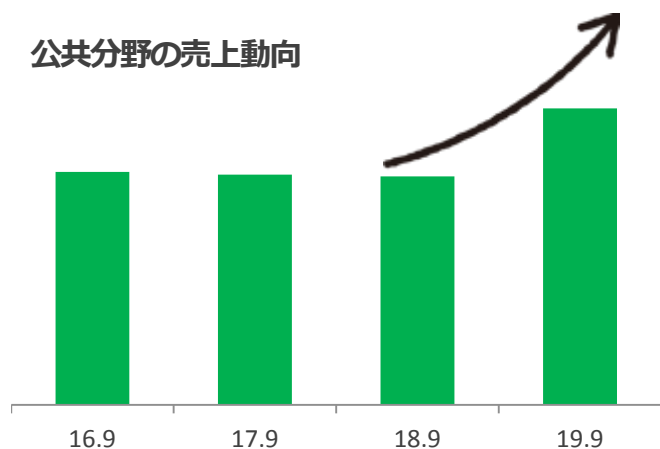
7団体から受注を獲得

そのうち、町田市にて受注を獲得

■BPO

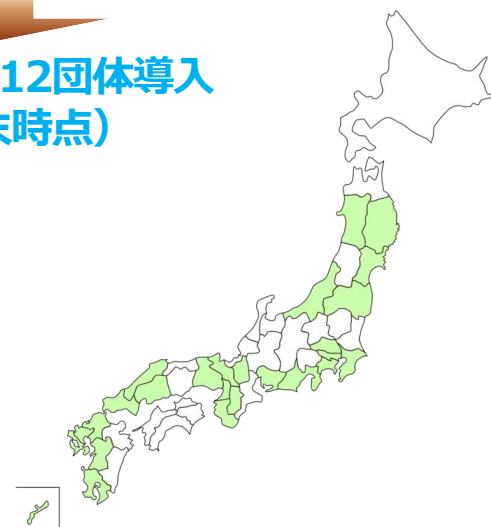
11団体から受注を獲得

公共分野の売上動向



26都道府県・112団体導入
(2019年9月末時点)

今期公共分野で
売上が拡大中





マルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」 ワールドカップ2019の会場に導入！

システム



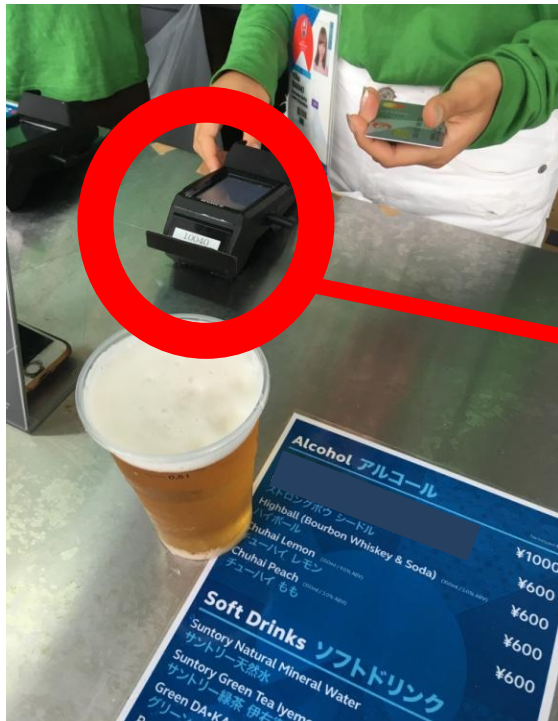
サービス



基盤



(東京スタジアム)



(大分スタジアム)



キャッシュレス決済事業の上期進捗

2017年
スタート!

キャッシュレス決済事業は地方銀行、信用組合、クレジットカード会社を中心に計画通りに推移中

経営課題の解決に向け

国策のキャッシュレス推進で収益向上を図り
新しい事業の柱の確立を目指す
広域連携加盟行より受注を獲得!

割賦販売法改正を背景に

新規事業としてキャッシュレス決済事業への進出を
図る大手信販系カード会社より受注を獲得!

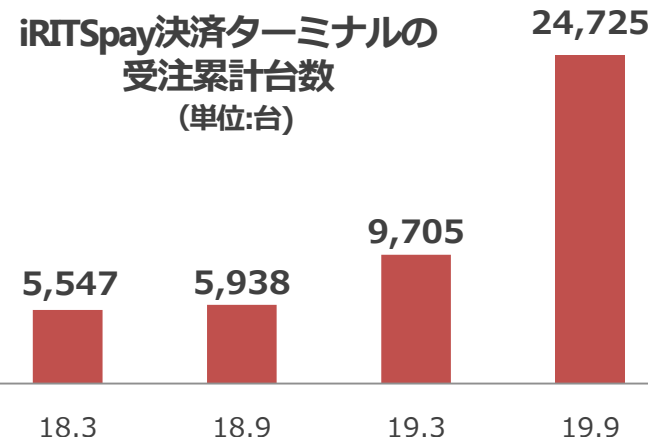
地方銀行

信用組合

クレジットカード会社

琉球銀行様から信用組合へ、新たな市場の開拓

琉球銀行様とカード加盟店サービスでの業務提携より
飛驒信用組合様に続き、奄美信用組合様から受注を獲得!





ノンバンクを中心に ロボティックコール（自動受架電システム）の 受注が好調！

業務課題

- ▶ 受架電量の増加
- ▶ 人員不足の顕在化、深刻化
- ▶ オペレーションコストの増加

上期に8社のユーザーから受注を獲得！

ノンバンク （上期 7 社受注獲得）

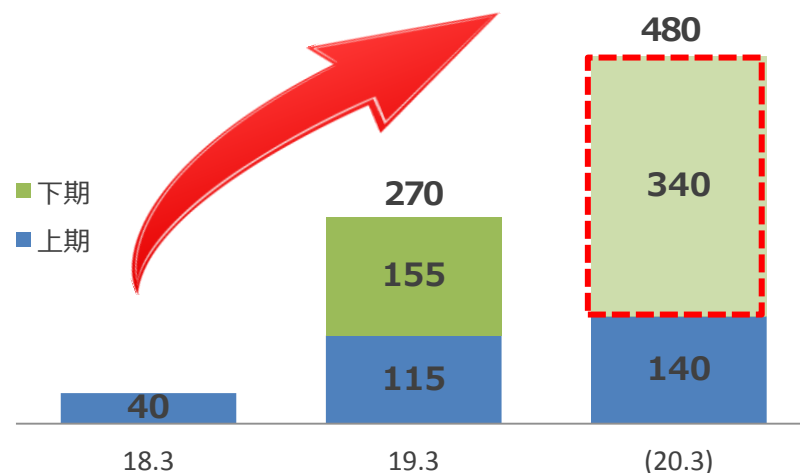
大手信販会社× 2 社
クレジットカード会社× 3 社
家賃債務保証会社× 1 社
債権回収会社× 1 社

上期
ターゲット
顧客

ノンバンク以外 （上期 1 社受注獲得）

地方銀行× 1 行

ロボティックコール
（自動受架電システム）の売上状況
（単位:百万円）





2020年3月期第2四半期業績

**第2次中期経営計画重点施策の
上期進捗状況**

2020年3月期業績見通し

ご参考資料

2020年3月期の連結業績予想

期初予想を据え置き

3期連続の増収増益、過去最高益となる見込み

(単位:百万円、%)

	19/3 実績	構成比	前期比	上期 進捗率	20/3 計画	構成比	前期比	上期 進捗率
売上高	12,554	100.0	+ 6.1	37.4	13,200	100.0	+ 5.1	48.0
売上総利益	4,652	37.1	+ 2.7	39.2	4,970	37.7	+ 6.8	-
販管費	3,014	24.0	+ 0.8	46.9	3,070	23.3	+ 1.8	-
営業利益	1,637	13.0	+ 6.6	25.0	1,900	14.4	+ 16.1	35.1
経常利益	1,709	13.6	+ 6.5	26.3	1,950	14.8	+ 14.1	36.9
当期純利益	1,148	9.1	+ 2.2	26.3	1,330	10.1	+ 15.9	37.2
受注高	16,329	-	+ 27.1	37.4	16,000	-	△ 2.0	47.9
受注残	12,155	-	+ 45.0	-	14,955	-	+ 23.0	-

セグメント別業績見通し



ITFOR

受注高・売上高・営業利益の内訳～期初予想から変更なし

(単位:百万円、%)

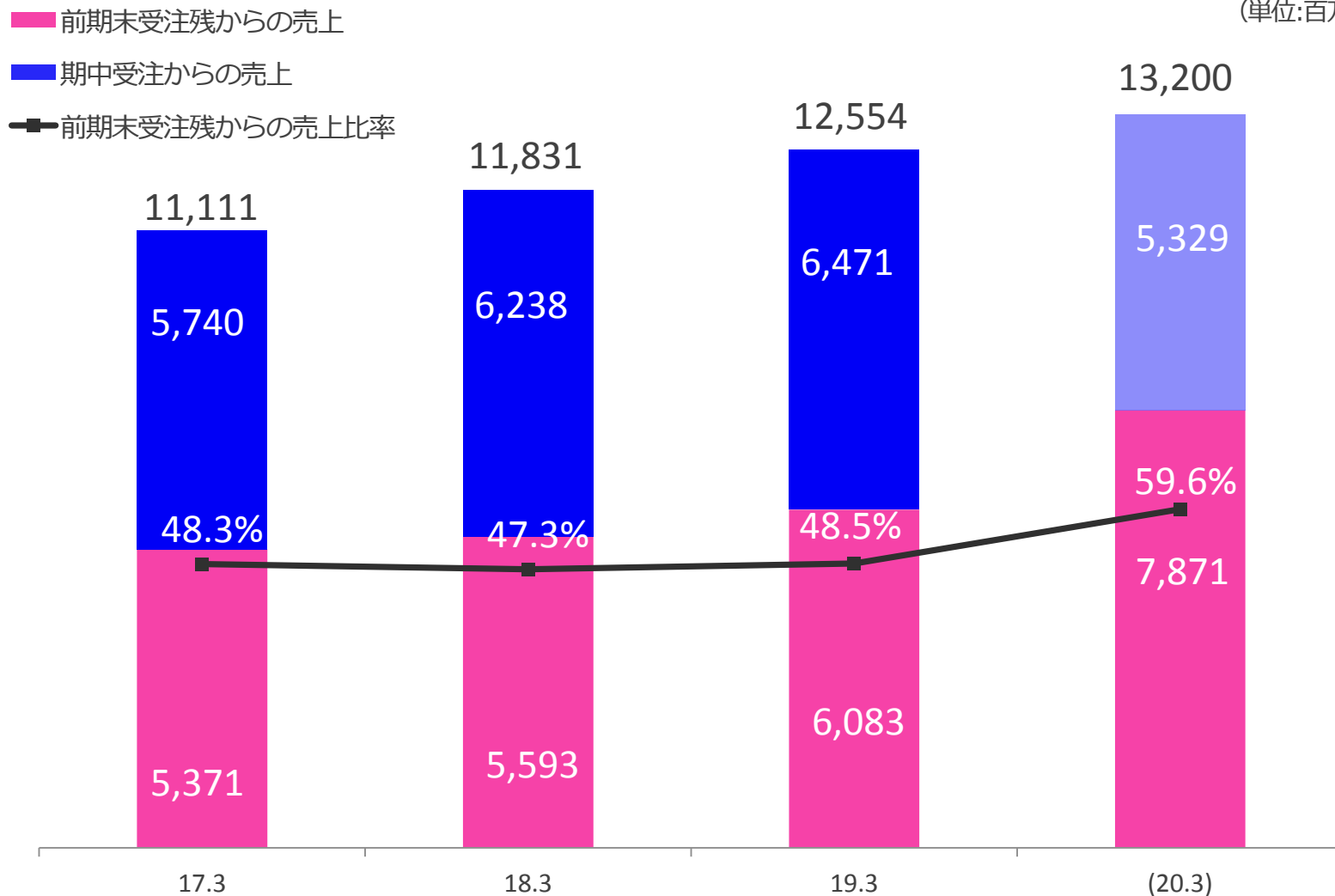
		19/3実績	20/3計画	前期比
システム ソリューション	受注	9,737	9,200	△ 5.5
	売上	7,569	7,700	+ 1.7
	利益	1,967	2,100	+ 6.8
サービス ソリューション	受注	4,140	4,200	+ 1.4
	売上	2,872	3,100	+ 7.9
	利益	509	550	+ 8.1
基盤 ソリューション	受注	2,451	2,600	+ 6.1
	売上	2,112	2,400	+ 13.6
	利益	384	500	+ 30.2

受注残からの売上推移～期初予想

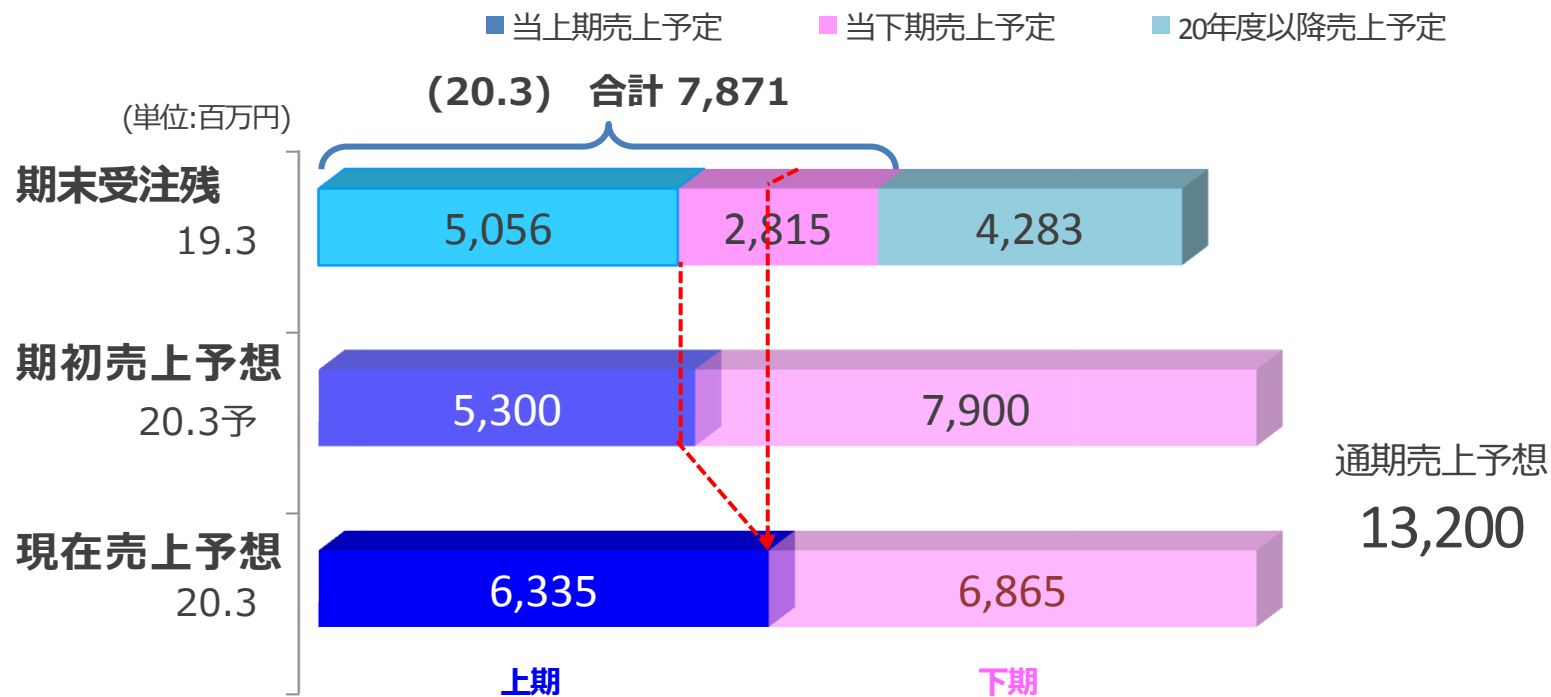


高水準の前期末受注残が、今期の売上伸びを下支え

(単位:百万円)



通期業績予想据え置き要因



2020年3月期下期の見通し

- 改元対応による特需 … 第2四半期で終了
- 消費税率の改正・軽減税率対応 … 第3四半期まで
- Windows 7サポート終了に伴う影響 … 第3四半期まで
- フィナンシャルシステムの事業概況 … 「SCOPE」や延滞債権管理システム「TCS」が引き続き好調
新規顧客獲得も順調
- キャッシュレス決済「iRITSpay」「iRITSpay決済ターミナル」 … 市場拡大を目指す



2020年3月期第2四半期業績

**第2次中期経営計画重点施策の
上期進捗状況**

2020年3月期業績見通し

ご参考資料

プレスリリース一覧(1)



金融機関向けソリューション

- **仙台銀行様**が当社のRPAを導入、年間2,521時間の削減効果を見込む（10月11日）
- **きらやか銀行様**が当社のRPAを導入、年間4,449時間の削減効果を見込む（10月11日）

公共機関向けソリューション

- **兵庫県宝塚市様**から納税案内センター運営業務の民間委託を受注（4月3日）
- **長崎市様**から「CARS滞納管理システム」を受注、徴収業務の効率化を支援（5月22日）
- **宮古島市様**で、当社が税・料の電話催告センター運営業務委託を開始（6月20日）
- **沖縄県庁様**で当社のCARS滞納管理システムの採用が決定（9月25日）
- **町田市様**が学校給食費公会計業務で当社の「給食費管理システム」を採用（10月9日）
- **尼崎市様**が就学事務および就学援助事務で、当社の学齢簿管理・就学援助システムを採用（11月1日）

キャッシュレス決済ソリューション

- **奄美信用組合様**がキャッシュレス決済システム「iRITSpay」を導入（11月5日）

AML/CFTソリューション

- 地方銀行で初、**百五銀行様**がマネロン対策システム「NICE Actimize」採用を決定（7月5日）



小売業/EC事業者向けソリューション

- **株式会社天満屋ストア様**からマルチ決済端末とカード申込電子化システムを受注（4月25日）
- 老舗高級スーパー**紀ノ国屋様**から「RITSギフト管理システム」を受注（7月22日）

店舗BGM/スタッフコールソリューション

- **綿半ホールディングスのグループ会社2社様**が、当社の店舗向けBGM&CM配信サービスを採用（8月6日）
- **ワイズマート様**が店舗BGM&CM配信サービス「アローサ운ズ」を採用（10月29日）

コンタクトセンターソリューション

- **トヨタファイナンス株式会社様**から自動受架電クラウドサービスを受注（6月14日）

**このプレゼンテーション資料は、
PDF形式で当社ホームページ『IR情報』に掲載する予定です。**

<https://www.itfor.co.jp/ir/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2019年11月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不特定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性がございます。



株式会社アイティフォー

2020年3月期第2四半期決算説明会

2019.11.13（水）

代表取締役社長：佐藤 恒徳

証券コード：4743